

第2回大島町地域公共交通活性化協議会

日時：令和5年6月30日（金） 13:30～14:45

議事次第

1 開会

2 議事

（1） 地域旅客運送サービスの役割、基本的な方針と施策・事業

（2） 目標の検討方針

3 その他

4 閉会

【配布資料】

資 料 1 検討段階の整理

資 料 2 地域旅客運送サービスの役割、基本的な方針と施策・事業

資 料 3 目標の検討方針

参考資料 大島町地域公共交通活性化協議会委員名簿

第1回協議会資料より抜粋

章	項目	内 容	
はじめに	・ 計画作成の趣旨 ・ 計画の区域 ・ 計画の期間	交通圏に基づく計画区域の設定 原則 5 年程度	第1回 協議会
1. 地域の現状等	・ 地勢・地理 ・ 社会状況・経済状況	地勢・地理、社会・経済状況の整理	
2. 上位・関連計画の整理	・ 総合計画 ・ 総合戦略 ・ 復興計画 ・ ジオパーク基本計画 ・ その他の関連計画	東京都、大島町の上位・関連計画を整理	
3. 地域旅客運送サービスの現状等	・ 地域旅客運送サービスの整備状況 ・ 地域旅客運送サービスの利用状況、利用者の意向等	地域の移動に関する統計情報 現状の運行計画等に関する情報 利用者の意向（アンケート調査） 等	
4. 地域旅客運送サービスの役割と課題整理	・ 地域旅客運送サービスの役割 ・ 地域旅客運送サービスの課題整理	位置づけ、役割の整理（法の趣旨を踏まえ、 地域全体の中での位置づけを明確化） 上位計画、データ分析より課題を整理	第2回 協議会
5. 基本的な方針		地域の将来像と公共交通の役割の明確化、取組の方向性	
6. 計画の目標		計画期間内に達成すべき目標と目標値の設定	
7. 目標達成のための施策・事業、資金調達計画		地域公共交通確保維持事業の必要性 補助系統に係る事業及び実施主体	第3回 協議会
8. 計画の達成状況の評価		達成状況の評価計画、 評価に基づく見直し方針	

地域旅客運送サービスの役割、 基本的な方針と施策・事業

1. 大島町における移動の課題

□現状

【移動サービスの現状】(庁内WG)

- ・東京発着のジェット船との接続を重視したバス運行ダイヤ

【町民の意見】(事業者ヒアリング)

- ・バス停から医療センターや図書館等へのアクセスが、高低差や距離があり高齢者の負担
- ・夕方以降のバス・タクシーがないため、外食等に支障
- ・支え合い交通等のボランティア輸送の持続性に課題
- ・事業を支える人員不足が問題

【町民の移動実態】(アンケート)

- ・買い物は各地区から元町・北の山に来訪
- ・町内各地区から大島高校への通学需要

【町事業の状況】(ヒアリング)

- ・移動を支える複数のサービスあり
- ・人員不足等の事業を支えるリソースの制約

【交通ネットワーク】(カバー状況)

- ・町民の半数以上が公共交通のカバー圏域外

課題1：日常の需要に対応した使いやすい移動サービスが必要

1-1. 島外連絡交通（航空機、船舶）との接続や島内移動に対応したダイヤ調整が必要

1-2. 通院や買い物などの日常の利用ニーズにあった移動サービスが必要

1-3. 町内の移動に関する取組みの整理が必要

1. 大島町における移動の課題

□現状

【移動サービスの現状】(庁内WG)

- ・1本/時間のバス運行、夕方以降の運行なし
- ・夕方以降のタクシー運行僅少
- ・交通機関がキャッシュレス決済未対応

【バスの利用実態】(乗降調査)

- ・元町・岡田間の移動に路線バスを活用
- ・大島公園や波浮港までの移動需要あり

【事業者の意見】(事業者ヒアリング)

- ・レンタカーがなく、移動に困る観光客が発生(地形の起伏による移動しづらさ)
- ・主要な観光地がレンタカー以外では来訪しづらい

【来訪者の意見】(中学校WS・庁内WG・来島者アンケート)

- ・家族での来訪が増加傾向
- ・自転車を利用した移動が増加傾向
- ・キャッシュレス等に未対応
- ・来島者への情報提供が不足(船の予約、駐車場所、バスに関する問合せも多い)
- ・路線バスの運行ダイヤや時間帯の利用しづらさ

課題2：来島者も利用しやすい交通環境整備が必要

2-1. 時期によって不足する、移動手段の確保が必要

2-2. 観光客のニーズに対応した移動サービスが必要

2-3. 来島者にとって、使いやすい移動サービスが必要

2-4. 島内の移動手段に関する来島者への情報提供が必要

1. 大島町における移動の課題

□現状

【バスの利用実態】(乗降調査)

- ・元町港・岡田港間や主要観光地以外での乗降僅少

【町民の意見】(事業者ヒアリング・庁内ヒアリング)

- ・公共交通を日常生活に組み込みづらい
- ・自家用車があるため、時間等の融通が利く自家用車で移動
- ・家族や知人への送迎の依頼しづらさ

【町民の移動実態】(アンケート)

- ・自家用車移動が中心
- ・自家用車で移動できず、家族等に送迎を依頼できない住民が一定数存在

課題3：自動車以外の交通手段の利用促進が必要

3-1.免許返納者の移動手段の確保が必要

3-2.島民のライフスタイル・移動実態にあった移動サービスが必要

3-3.公共交通の利用促進に向けた島民の意識の醸成が必要

2. 検討部会での検討状況

- ・ 交通事業者による検討部会を実施し、課題整理や施策・事業の検討の方向性を議論

分類	検討部会で挙げた意見
繁忙期と非繁忙期での移動実態の違い	・ 大島町は夏休み期間やGW等の繁忙期と非繁忙期で人の流動が全く異なる。 ・ 繁忙期には観光地への移動等が増加し、移動手段が不足する状況である。 ・ 一方で非繁忙期はバス・タクシーともに利用が少なく、繁忙期に合わせたサービス等を提供することができない状況である。 ・ 非繁忙期にはバスでの輸送が非効率となっている場合もある。
町内の交通ネットワークの構成	・ 港間や観光地等への主要な移動を担う骨格の役割を路線バスが担っている。 ・ 路線バスではカバーできない移動をタクシーやスクールバスの活用等の他の交通手段で対応していく必要がある。

3. 検討部会を受けた課題の追加

□非繁忙期

- 元町港・岡田港間での利用が中心
⇒前日と異なる出帆港の場合に駐車している自家用車を回収する目的での利用
- 朝時間帯は中学校・高校への通学利用
- 通院等には町・社会福祉協議会実施の送迎サービス等で移動

□繁忙期

- 元町港・岡田港間の移動に加えて、大島公園や波浮港、地層切断面等の観光名所への移動利用が増加
- 特定月に来島者が集中するため、レンタカー等が不足
- 夏休み期間中やGW等にはバスで行きづらい場所の移動のために、タクシー利用も増加し、タクシーが不足



非繁忙期・繁忙期での移動実態に対応した施策が必要

4. 施策の柱の整理

[後期基本計画におけるまちづくりの方向性]

- 元気で住みやすい快適なまちづくり、自然と人々が調和し、仲良く 共生する大島らしい環境づくり を推進
- 安全・安心で豊かに 誰もが住み心地のよい快適な環境 の整備
- 誰もが生きがいを持ち 安心して暮らせるよう健康でやさしさあふれるまちづくり を推進
- Uターン・Iターンなどができる環境整備を充実し、農業、漁業における人材を確保し、若者が定着する活力ある産業の振興 等

課題0

非繁忙期・繁忙期での移動実態に対応した施策が必要

- 繁忙期の多客状況に対応できるサービスが必要
- 非繁忙期の非効率な輸送状況を改善する必要

課題1

公共交通利用者の移動実態に対応した移動サービスが必要

- 島外連絡交通（航空機、船舶）や島内移動に対応したダイヤ調整が必要
- 通院や買い物などの日常利用ニーズにあった運行ネットワークが必要
- 町内の移動に関する取組みの整理が必要

課題2

来島者も利用しやすい交通環境整備が必要

- 不足する移動手段への対応が必要
- 観光来訪における移動需要への対応が必要
- 移動サービスにおけるキャッシュレス決済等への対応が必要
- 島内の移動手段に関する来訪者への情報提供が必要

課題3

自動車以外の交通手段の利用促進が必要

- 免許返納者の公共交通による移動手段の確保が必要
- 島民のライフスタイル・移動実態にあった移動サービスが必要
- 公共交通の利用促進に向けた島民の意識の醸成が必要

柱1

広域ネットワークを担う交通サービスの維持・確保

- 住みやすい快適なまちづくりに資する広域ネットワークの維持・確保
- 若者がUターンしやすい環境の一環としてのネットワークの確保

柱2

町民の生活や観光需要に対応したフィーダー交通の再編

- 安心して暮らせる環境を作るためのフィーダー交通の再編
- 観光需要に対応した移動手段の確保

柱3

誰にでも分かりやすく使いやすい交通サービスの確立

- 分かりやすい情報提供
- 利用しやすい交通サービスの提供

柱4

自動車以外の交通手段も利用する新しいライフスタイルやツーリズムの推進

- 自動車にばかり頼らないライフスタイルの推進
- レンタカー以外を活用したツーリズムの推進

5. 施策実施にあたっての役割整理 (案)

分類	役割
路線バス	- 元町港・岡田港や観光地、各集落のまとまった移動需要に対応するための交通手段 - 定時・定路線・定期運行の交通手段としてサービスを提供
タクシー (乗合含む)	- 路線バスで対応するには需要の少ない移動需要に対応するための交通手段(非繁忙期の日中の移動等) - 移動需要に合わせて、サービスの内容を調整 ⇒定時・定路線・定期運行、デマンド運行等を組合せ
スクールバスや医療送迎等の特定目的の交通手段	- 路線バスやタクシーでは支障をきたすとしてい目的の移動に対応するための移動手段 - 施策ターゲットにあったサービスを調整

6. 想定される施策アイデア

柱1

広域ネットワークを担う交通サービスの維持・確保

- ・住みやすい快適なまちづくりに資する広域ネットワークの維持・確保
- ・若者がUターンしやすい環境の一環としてのネットワーク

柱2

町民の生活や観光需要に対応したフィーダー交通の再編

- ・安心して暮らせる環境を作るためのフィーダー交通の再編
- ・観光需要に対応した移動手段の確保

柱3

誰にでも分かりやすく使いやすい交通サービスの確立

- ・分かりやすい情報提供
- ・利用しやすい交通サービスの提供

柱4

自動車以外の交通手段も利用する新しいライフスタイルやツーリズムの推進

- ・自動車にばかり頼らないライフスタイルの推進
- ・レンタカー以外を活用したツーリズムの推進

1. 移動需要に合わせた町内の交通ネットワーク再編

- ① 需要に合わせた運行ダイヤ・ルート等の再編 ★
- ② バス・タクシー・スクールバス・移動送迎サービス等の複数の交通手段の連携による需要に応じた交通ネットワークの確保 ★

2. ラストワンマイルの移動手段の確保

- ① バス停から離れた施設や地区への移動手段確保(超小型パーソナルモビリティなど)

3. 生活や観光行動に対応した新たなモビリティの検討

- ① 買い物施設を周遊する「お買い物バス」の運行
- ② 元町～サンセットパームラインを周遊する観光モビリティの導入 ★
- ③ コミュニティサイクルや電動キックボードの活用検討

4. 福祉輸送等の確保

- ① 福祉や医療分野で実施している移動サービスの維持・確保
- ② 支え合い交通の持続可能な体制の確保に向けた自家用有償運送等の検討
- ③ 公共交通等の利用を促すチケット等の配布

5. ICT等を活用した交通サービスの導入

- ① キャッシュレス対応サービスの導入
- ② 経路検索サービスでの情報提供サービスの導入

6. モビリティ・マネジメント実施

- ① 公共交通案内の充実
- ② バスの乗り方教室の実施
- ③ 住民参画の取り組みの実施
- ④ ノーマイカーデーの実施 ★
- ⑤ 公共交通無料デーの実施 ★
- ⑥ エコツーリズム等の推進

※ ★は非繁忙期・繁忙期を考慮した施策検討を想定

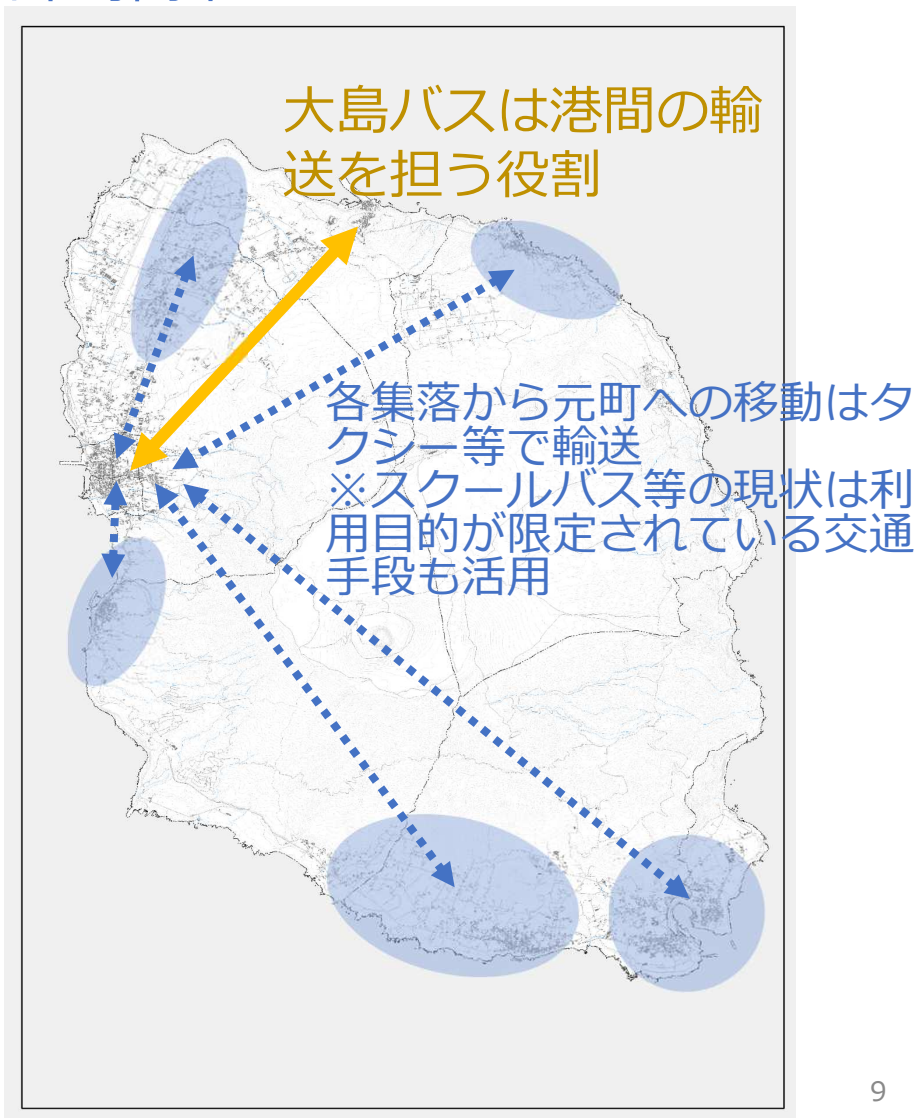
バス・タクシー・スクールバス・移動送迎サービス等の複数の交通手段の連携による需要に応じた交通ネットワークの確保のイメージ

□非繁忙期

朝・夕時間帯



日中時間帯



バス・タクシー・スクールバス・移動送迎サービス等の複数の交通手段の連携による需要に応じた交通ネットワークの確保のイメージ

□繁忙期



バス・タクシー・スクールバス・移動送迎サービス等の複数の交通手段の連携による需要に応じた交通ネットワークの確保のイメージ

分類	検討部会や庁内意見照会で挙げた意見
今後の検討課題	・ スクールバス利活用は学校のタイムスケジュール(土曜授業の有無、台風等での登下校時間の繰り上げ/繰り下げ)の対応の検討が必要 ・ スクールバスは事故の際の保険の適用に関して検討が必要 ・ デマンドや乗合等でタクシーを利活用する場合には事業が成立するようなスキーム検討が必要 ・ スクールバスの利用目的変更についての確認が必要
検討を進める上でのアイデア	・ スクールバスは現状では利用者数が少ない路線もあるため、使用車両の見直し等でリソースを有効活用

ラストワンマイルの移動手段の確保のイメージ

【施策のイメージ】

①バス停から離れた施設や地区への移動手段確保(超小型パーソナルモビリティなど)

- 農協前等から大島医療センター・町立図書館・メモリアル公園、商店を結ぶようなグリーンスローモビリティの運行
- コミュニティサイクル(乗り捨て可能なレンタサイクル)の駐輪場整備
- 予約制の乗合タクシーの実現可能性の検討

施策の例

□福山市(広島県)

日本遺産 鞆の浦で暮らしとおもてなしをつむぐ

2019年4月より、日本遺産 鞆の浦で**全国初**のグリーンスローモビリティによる

タクシー運行「**グリスロ潮待ちタクシー**」を開始しました。

グリーンスローモビリティがもつ「開放感」で潮待ちの港を堪能！

「小型」な車両なので、狭い道も走行可能！

鞆の浦へお越しの際は、是非一度見て、乗って、ご堪能ください！



<運行概要>

運行日：月曜日～日曜日 ※天候等により運休となる場合もあります。

運行時間：午前9時～午後6時

運行区間：鞆地区のみ

利用料金：通常タクシー料金と同様

<運行・予約に関するお問い合わせ>

アサヒタクシー株式会社 TEL：0120-933-662

□宇検村(鹿児島県)

来春本格運行へ実験開始 宇検村、乗り合い電動カート

2021年11月02日 地域

ツイート



実証実験が始まった乗り合い電動式カート「グリーンスローモビリティ」＝1日、宇検村

宇検村が高齢者の移動手段として導入を予定している乗り合い電動式カート「グリーンスローモビリティ」の実証実験が1日から始まった。期間は来年1月31日まで。持続可能な公共交通として来年4月の本格運行を目指す。

高齢者がバス停から公共施設まで徒歩で移動する負担を軽減しようと、同村が2020年度に開始した新規事業。高齢者の外出を促し、既存のバス路線の利用客を増やす狙いもある。

電動式カートは二酸化炭素排出量が少なく、最高速度は時速20㌔。世界自然遺産登録を受け自然環境への関心が高まっている同村では、環境に優しく安全な交通手段として期待されている。

実験期間中の運賃は無料。定員は4～5人。高齢者以外も乗車できる。平日のみ運行し、村役場や診療所など4カ所を巡回する。利用した人にはアンケートの記入を呼び掛けている。

生活や観光行動に対応した新たなモビリティの検討のイメージ

【施策のイメージ】

①買い物施設を周遊する「お買い物バス」の運行

- 元町港を起終点として、路線バスと接続するようにダイヤ設定した巡回バスの運行
- 波浮港や岡田、泉津等のスーパーマーケットのない地域での買い物ツアーバスを運行

②元町～サンセットパームラインを周遊する観光モビリティの導入

- 元町港・ぶらっとハウス間のサンセットパームラインを經由して運行するモビリティの運行(グリーンスローモビリティ、通学バスの夏休み期間中の活用含む)

③コミュニティサイクルや電動キックボードの活用検討

- コミュニティサイクル(乗り捨て可能なレンタサイクル)の駐輪場整備
- 電動キックボードの活用可能性

生活や観光行動に対応した新たなモビリティの検討のイメージ

分類	検討部会や庁内意見照会で挙げた意見
今後の検討課題	坂道が多い地域特性にあったモビリティの検討が必要 ⇒小型のモビリティでは登板に難あり？
検討を進める上でのアイデア	- サンセットパームライン等での通過交通の少ない道路での自動運転の試行 - 夜間の観光(夕日スポット、星空スポット)を促進するようなモビリティの検討 - 自転車と路線バスの連携検討(サイクルバスの検討等)

福祉輸送等の確保のイメージ

【施策のイメージ】

①福祉や医療分野で実施している移動サービスの維持・確保

- 既存事業の整理・維持

②支え合い交通の持続可能な体制の確保に向けた自家用有償運送等の検討

- 自家用有償旅客運送や福祉有償運送等の協議会立ち上げによる実施体制の確立

③公共交通等の利用を促すチケット等の配布

- 町民への公共交通利用チケットの定額配布→利用枚数に応じて町から事業者を利用額を支給

ICT等を活用した交通サービスの導入イメージ

【施策のイメージ】

- ①キャッシュレス対応サービスの導入
 - ・ バス・タクシーへのキャッシュレス決済端末の導入

- ②経路検索サービスでの情報提供サービスの導入
 - ・ バスの経路情報(GTFS-JP)の整備

モビリティ・マネジメント実施のイメージ

【施策のイメージ】

①公共交通案内の充実

- ・ 公共交通の利用案内を含めたガイドブックの作成

②バスの乗り方教室の実施

- ・ 町内の学校等での公共交通の乗り方を学習する場の提供
- ・ 遠足等での路線バスの活用

③住民参画の取組みの実施

- ・ アンケートやワークショップ等の住民参画の取組みを通じて、公共交通への興味・関心、利用意識を向上

④ノーマイカーデーの実施

- ・ 月1回等の頻度を決めて、クルマを利用せずに移動する日を設定
- ・ 通勤でノーマイカーを推進

⑤公共交通無料デーの実施

- ・ 主に路線バスの利用を1日無料として、町内の移動を促進：路線バスで移動するメリットが発生するようなイベントをセットで実施

⑥エコツーリズム等の推進

- ・ 観光客向けに公共交通を利用した観光ルートの案内
- ・ クルマ以外での移動を中心としたツアーの企画

モビリティ・マネジメント実施のイメージ

分類	検討部会や庁内意見照会で挙げた意見
今後の検討課題	・ ノーマイカーデー等の施策実施の必要性や実施理由を理解が得られるように説明する必要
検討を進める上でのアイデア	・ 町のHPの交通カテゴリの見直しによる情報発信 ・ イベントとセットで路線バスの乗り方教室を実施

施策の例

鳥取市(鳥取県)

<https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1654229750633/index.html>

毎週金曜日は

ノマイカーデー

公共交通を守り地球温暖化を防止するため
みんなで「ノルデ運動」に参加しよう!

有効期限: 令和4年7月1日～令和5年3月31日 まで

毎週金曜日
カードを提示してお得な特典をゲット!!

麒麟のまち 公共交通利用促進運動

NoRUDE
ノルデ

有効期限: 2022/7/1 - 2023/3/31

特典1 **路線バス運賃が半額!!**
バスを降りるときに提示すると運賃が半額に!!

特典2 **若桜鉄道運賃が半額!!**
切符を購入するときに提示すると若桜-郡家間の運賃が半額に!!

特典3 **協賛店舗での特典サービス!!**
協賛店舗でお得なサービスを受けよう!!

麒麟のまち (Kirinnomachi)

ノルデ運動

路線バスなどの利用を促進し、公共交通を守っていくとともに、CO2の削減による地球温暖化防止に貢献するため、ノルデ運動(ノマイカー運動)に麒麟のまち圏域で取り組みます。

参加者募集中!

ノルデ運動キャラクター
ノルデーズ

なしの、らっさる、トーフデークワ

実施期間 令和4年7月1日～令和5年3月31日
※毎週金曜日は取り船強化日(ノマイカーデー)

対象者 麒麟のまち圏域内の鳥取市・若桜町・智頭町・八頭町に勤務し、①、②いずれかの条件を満たす方を対象とします。
① 普段マイカー通勤の方で参加により週1回以上公共交通機関を利用して通勤する方
② すでにマイカー以外(JR、バス、徒歩、自転車)で通勤しており、通勤手当の受給者または自宅から勤務先まで概ね2*以上ある人

内容 ①事前に勤務先を通して「ノルデ運動」参加登録を行ってください。
②参加登録後、「ノルデカード」を送付します。
③実施後、各事業者(参加者)から実績報告を提出していただきます

●参加登録のお申し込み、及び特典サービスに関するお問い合わせは…
お問い合わせ **鳥取市役所 交通政策課** 〒680-8571 鳥取市幸町71番地 TEL:0857-22-8111

麒麟のまち ノルデ運動
ノマイカーデー
協賛店舗一覧 (随時追加)
毎週金曜日のみ

鳥取市 01 ミスタードーナツ イオン鳥取ショップ
鳥取市天神町1番地 TEL:0857-29-3535
9:00～22:00
※ 不定休

ノルデカード特典
新商品以外のドリンク半額

鳥取市 02 MOBS FELLAS
鳥取市元町123 元町ビル3F TEL:0857-24-0184
18:00～26:00、18:00～25:00(日・祝)
※ 月曜日

ノルデカード特典
1500円以上ご利用の方はワンドリンクサービス

鳥取市 03 ESOLA
鳥取市栄町709 佃ビル1F TEL:0857-51-0809
17:00～24:00(月～金) 12:00～(土日祝)
※ 月曜日

ノルデカード特典
マルゲリータ1枚プレゼント

鳥取市 04 しゃんしゃん亭
鳥取市東温湯町158-3 TEL:0857-24-7655
17:00～23:00
※ 日曜日・祝日

ノルデカード特典
鳥取牛数値ステーキ980円
半額490円でサービス

鳥取市 05 お気楽バル Casa
鳥取市栄町602 TEL:0857-30-5141
17:00～
※ 月曜日

ノルデカード特典
スペイン産生ハムレギュラーサイズ30%オフ

鳥取市 06 ご馳さぐらっえ 本店
鳥取市東温湯町271-4 TEL:0857-29-5300
18:00～23:30(L.O.23:00)
※ 日曜日

ノルデカード特典
大江ノ郷のだし巻き卵2名様で一つサービス

鳥取市 07 阿阿旨
鳥取市栄町704-6(サンパーク内) TEL:0857-50-0001
17:00～24:00
※ 月曜日

ノルデカード特典
1,000円以上ご利用の方にワンドリンクサービス

鳥取市 08 炙り焼きダイニング 炭火 吉鳥
鳥取市岸町92 TEL:0857-22-8833
17:00～
※ 元日のみ

ノルデカード特典
焼鳥串1本サービス

鳥取市 09 鳥料理 どり家
鳥取市歌生町233 TEL:0857-21-5347
17:00～
※ 日曜日

ノルデカード特典
ワンドリンクサービス

鳥取市 10 めんや ふうたろう
鳥取市永楽温湯町213 TEL:0857-23-9233
11:00～14:00、18:00～21:00
※ 日曜日、月曜日、土曜日の夜

ノルデカード特典
煮たまご1個サービス

鳥取市 11 Beer Bonds AKARI
鳥取市岸町759(サンロード内) TEL:0857-23-7000
18:00～24:00
※ 月・火曜日

ノルデカード特典
1,000円以上ご利用の方にワンドリンクサービス

鳥取市 12 とっとり地魚菜や 酒楽
鳥取市栄町663-2 TEL:0857-25-0001
11:00～14:00/17:00～25:00(月・土曜)/18:00～25:00(日)
※ 不定休

ノルデカード特典
1,000円以上ご利用の方にワンドリンクサービス

鳥取市 13 辰屋
鳥取市歌生町392 TEL:050-3553-3920
18:00～23:00
※ 水曜日

ノルデカード特典
1,000円以上ご利用の方にワンドリンクサービス

岩美町 14 れすとはうすロマン
岩美町蒲賀1035 TEL:0857-72-2992
※ HPで確認 (http://romans-restaurant.com)
※ HPで確認

ノルデカード特典
次回ご来店時にお使いいただける50円割引クーポン券

岩美町 15 ホンダコンフェクト
岩美町蒲賀1036-3 TEL:0857-72-0105
9:00～19:00
※ 火曜日

ノルデカード特典
5%割引

若桜町 16 URUWASHI JAPANESE TEA
八頭郡若桜町若桜379 TEL:070-2361-0369
平日12:00～17:00 休日10:00～18:00
※ Instagramにてご案内

ノルデカード特典
10%割引

若桜町 17 若桜道の駅 桜ん坊
八頭郡若桜町若桜953-2 TEL:0858-76-5760
11:00～15:00
※ 月曜日(不定休)

ノルデカード特典
お食事された方ワンドリンクサービス

八頭町 18 HOME823
八頭郡八頭町長尾176-4 TEL:0858-71-0201
11:00～15:00、18:00～23:00
※ 水曜日

ノルデカード特典
ランチセットのドリンク1杯サービス

八頭町 19 Cafe&Dining San
八頭郡八頭町長尾154-2 TEL:0858-72-3330
09:00～22:00(L.O.20:30)
※ 火曜日

ノルデカード特典
セットドリンクサービス

八頭町 20 北村きのこ園
八頭郡八頭町下野704 TEL:0858-73-9314
8:10～17:05
※ 水・日曜日

ノルデカード特典
購入金額に対し5%引き

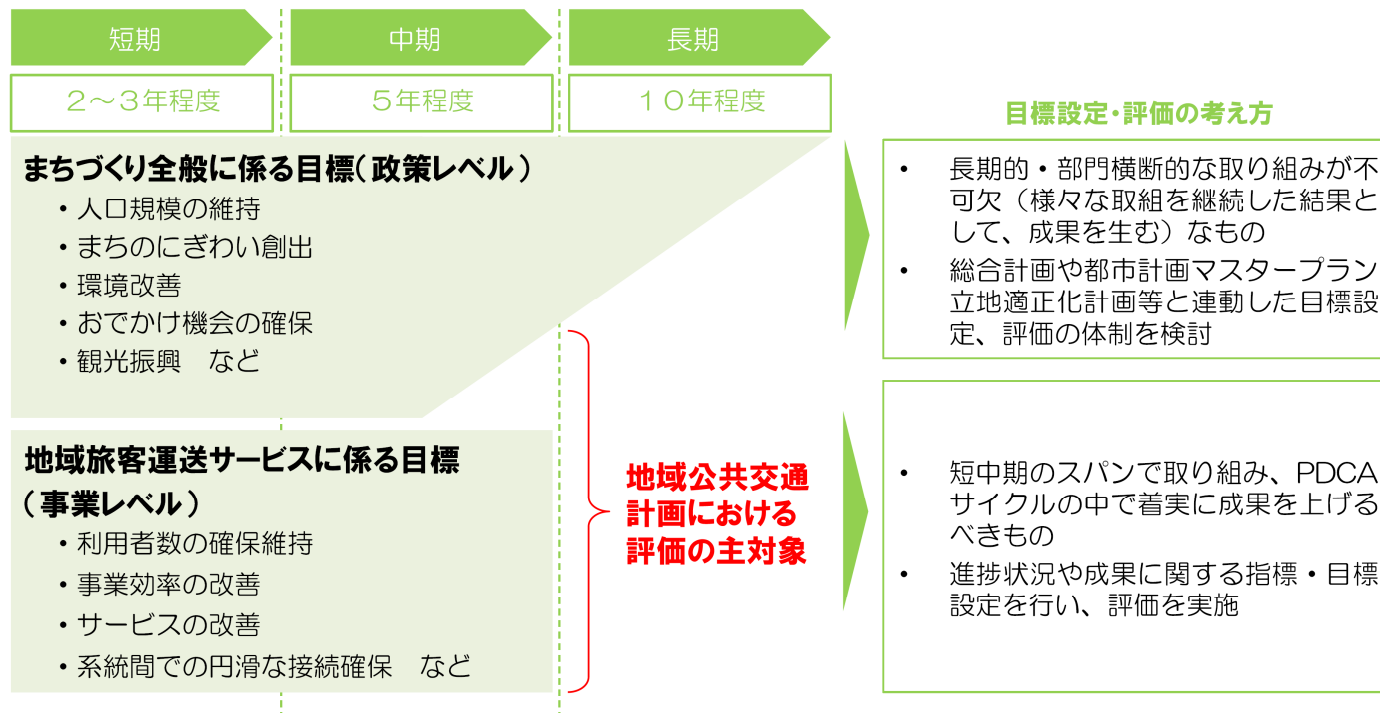
目標の検討方針

評価指標の検討

- 地域公共交通計画では、評価指標の設定が必要
 - ✓PDCAサイクル(計画→実行→確認→見直し)の繰り返しによる改善・向上
 - ✓関係者間での実態や危機感の認識共有
 - ✓実態の経年把握
 - ✓関係者のモチベーション
 - ✓数値を持った説明による議論の具体化、理解促進
- 設定する評価指標によっては、交通事業者をはじめとした関係者の協力が必要不可欠
⇒今後の検討にあたってご理解・ご協力をお願いしたい

評価指標の検討

- 評価指標を設定する目標は旅客サービスに係るものを中心にバランスよく設定
- 計画の実行を通じた社会全体が受ける効果や変化の評価が重要

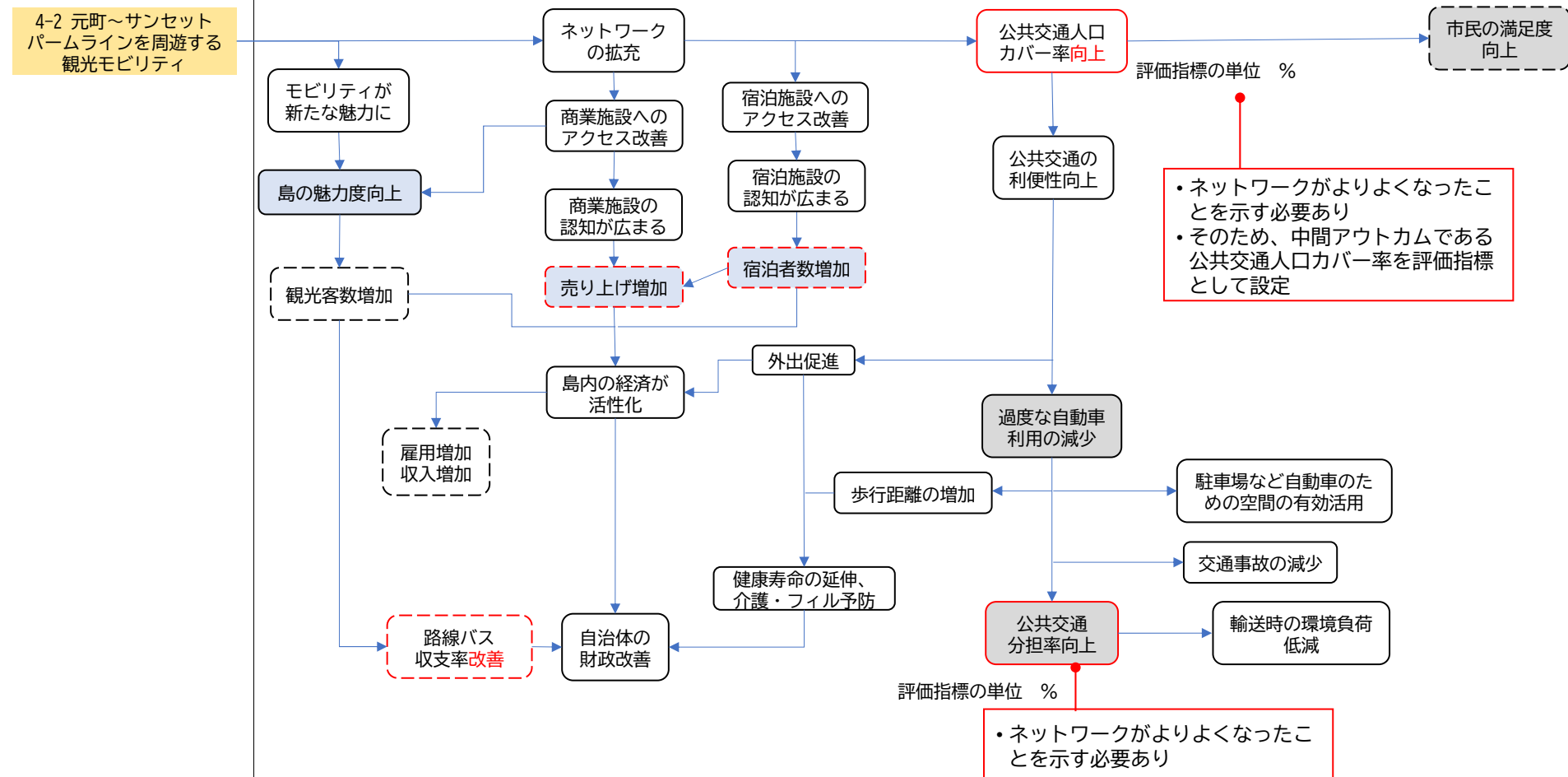


▲地域公共交通計画における目標設定・評価のイメージ

評価指標の検討

施策4：生活や観光行動に対応した新たなモビリティの検討

取組による効果の発現フロー



[] アウトプット：取組の実施件数など
 [] アウトカム：取組の効果

[] 把握のために追加調査が必要
 [] 主要な指標

[] 本計画で位置付けた事業以外
 [] の影響を受けやすい指標

評価指標の検討

■標準指標

地域公共交通計画の趣旨から見て設定する必要性が高いものであり、「住民等の公共交通の利用者数」、「公共交通の収支（収支率・収支差）」、「公共交通への公的資金投入額」の3指標が該当します。これらは基本的に全ての計画において設定することが望ましいです。

■推奨指標

「公共交通の利用頻度」や「平均輸送密度」など、交通事業との関連性が高い指標については、交通事業者や行政などの公共交通の運営側の目線から、事業の必要性や有効性を計測しやすい指標ですので、積極的に設定することをお勧めします。

■選択指標

地域の目指す姿や事業実施の目的によって設定を検討するものであり、地域の実態に合わせて適切なものを設定してください。選択指標として想定される指標の例を次ページに示していますが、表に掲載されている全ての指標を選択することが必要というわけではなく、地域の目指す姿や事業実施の目的に合致する指標を選定すれば足ります。